

動物类日语惯用语(日文解释)

犬が西向きや尾は東	当たり前。
犬と猿	仲の悪いたとえ。
犬になるなら大所の犬になれ	仕えるならしっかりした主人を選べ。
犬の糞で敵を討つ	卑劣な手段で復讐する。
犬の遠吠え	臆病者がかけて威張るさま。
犬の逃げ吠え	逃げながら口返答するさま。
犬の蚤の噛み当て	まぐれ当たり。
犬骨折って鷹にとられる	苦勞して得た物を他に奪われる。
犬も食わぬ	全く相手にされない。
犬も朋輩鷹も朋輩	地位の差はあっても同じ主人を持つ同僚の意。
犬を喜ばせる	嘔吐すること。
飼い犬に手を噛まれる	恩をかけた者に裏切られること。
夏の風邪は犬もひかぬ	夏に風邪をひくのはつまらないことだ。
煩惱の犬は追えども去らず	煩惱はいくら追っても人の心から去らない。
吠える犬は噛まぬ	むやみに威張る者には実力がない。
鳴かぬ猫が鼠をとる	口数の少ない者に実力がある。
借りてきた猫	普段よりおとなしい。
猫に紙袋	あとずさりするさま。
猫にかつおぶし	過ちの起きやすいことのたとえ。
猫に小判	無知な者には真価が分からない様。
猫の手も借りたい	非常に忙しいたとえ。
猫の額	面積の狭いたとえ。
猫の目	絶えず移り変わる様。
猫ばば	悪事を隠して素知らぬ顔をする。
猫も杓子も	何もかもすべての意。
猫よりまし	いないより多少は役立つこと。
猫をかぶる	本性を隠して上品ぶるさま。
猿が仏を笑う	小才の者が偉い人をあざける。
猿の尻笑い	自分の欠点を知らず人を笑う。
生き馬の目を抜く	すばしこい様。
馬が合う	意気投合する。
馬と猿	仲のよいたとえ。
馬には乗って見よ人には添うて見よ	物事は経験しないと分からないの意。
馬の骨	素性の分からぬものをあざける語。
馬の耳に念仏	言っても効き目のない様。
馬を牛に乗り換える	優れたものを捨てて劣ったものにかえるたとえ。
馬脚をあらわす	化けの皮が剥がれる。
牛にひかれて善光寺参り	思いがけないことが縁で、偶然、よいほうに導かれること。
牛の歩み	進みぐあいの遅いたとえ。
牛の角を蜂がさす	何とも感じないさま。

牛ののどから出たよう	汚れた衣服。
牛のよだれ	だらだら続く＝牛の小便
牛は牛連れ（馬は馬づれ）	同類の者が集まって事をおこなうさま。
暗がりから牛	物の区別がつきにくいさま。また、動作の鈍い様。
兎の逆立ち	（忠告などを聞いて）耳が痛い。
兎の角	実際にはないことのたとえ。
兎の糞	切れ切れで続かないさま
家に鼠、国に盗人	どんな社会にも害をなすものがいる。
窮鼠猫をかむ	追いつめられた弱者の逆襲。
ただの鼠ではない	油断できないものだ。
鼠が塩を引く	小事が積もって大事となる。
鼠に引かれそう	家で一人ぼっちでいるさま。
鼠の尾まで錐の鞘	どんな物も役に立つ。
虎になる	酔っ払う。
前門の虎、後門の狼	一つの災いを逃れても、さらに他の災いにあうこと。
虎に翼	鬼に金棒＝虎に角
虎の尾を踏む	きわめて危険な様。
虎の子	大切に秘蔵するもの。
虎のひげをひねる	きわめて危険な様
張り子の虎	実力がなく虚勢を張るさま。
尾のない狐	男を騙す商売女性。
狐と狸	人を騙すくせもの同士。
狐につままれる	わけの分からぬ様。
狐の嫁入り	日照り雨。
狐を馬に乗せたよう	落ち着きのないさま。
狸の念仏	途中で立ち消えになる様。
狸寝入り	眠ったふりをすること。
鼬の最後っ屁	最後の非常手段、醜態。
鼬の道	往き来がぶつつり絶えること。
河童の川流れ	猿も木から落ちる。どんな達人も失敗することがある。
蛙の行列	むこう見ずなこと。
蛙の子は蛙	人の子はやはり凡人。
蛙の面へ水	平気の顔つきを言う
蛙の頬かぶり	目先のきかないさま。
蛙の目借り時	春の眠い時期をいう。
手負いの猪	気が立って危険な様。
山より大きな猪は出ぬ	入れ物より大きな中味はない。
狼に衣	悪者が善人のそぶりをすること。
送り狼	すきあらば害を加えようとして親切そうについてくるさま。
鹿を追う獵師山を見ず	一事に熱中すると他をかえりみなくなること。
蛇が蚊を飲んだよう	腹にたまらぬさま。
蛇に見込まれた蛙	怖いものの前で身がすくむさま。
蛇の生殺し	物事を不徹底なままにしておくさま。
蛇も道は蛇	同類の者はその道に詳しい。

蛇は寸にして人を吞む	優れた人物は幼い時から異質である。
鳥の足跡	年とった人の目尻のしわ
鳥の髪	黒くてつややかな髪。
鳥の行水	入浴の短いたとえ。
鳥の鳴かぬ日はあっても	一日として欠かさずの意。
着たきり雀	着ているものだけで着替えのないこと。
雀の涙	ほんのわずかなこと。
閑古鳥がなく	不景気で淋しいさま。
鶴の一声	権威者の一言で決着がつくこと。
掃き溜めに鶴	場に不相応な立派な人。
焼野の雉子夜の鶴	親が子を思う情。
雉子も泣かずばうたれまい	無用の発音が災難を招くたとえ。
鳩に豆鉄砲	驚いてきょとんとした様。
鵜の目鷹の目	物を探す鋭い目つき。
鳶が鷹を産む	平凡な親がいい子を産む。
鳶に油揚げをさらわれる	大事なものを横あいから奪われる。
いすかの嘴	物事が食い違うこと。
鳥無き里の蝙蝠	優れた人のいない所でつまらぬ者が勢力をふるうさま。
立つ鳥跡を濁さず	去り際を綺麗にする。
鷺を鳥	白いものを黒いものに言いくるめる。
蟻の思いも天に届く	無力な者の念願も達成できることがある。
蟻も軍勢	つまらない者でも多いほうがよい。
千里の堤も蟻の穴から	小さなことから大事が崩れる。
富士の山を蟻がせせる	小さなものがおおきなことを企てる。
蚤にも食わさぬ	大事にする。
蚤の皮をはぐ	小さなことにあくせくする様。
蚤の小便蚊の涙	少量のもののたとえ。
蚤の夫婦	妻が夫より大きい夫婦。
しらみ潰し	はしからこまかく調べるさま。
蚊が鳴くよう	力弱く細かい声。
蚊のすね	やせ細った手足。
自分の頭の蠅を追え	人の世話を焼くより自分のすべきことをやれ。
蝶よ花よ	女の子を大事に育てる様。
虻蜂とらず	両方狙ってどちらも手に入らないこと。
蜘蛛の子を散らす	多くの人が八方に逃げ散る様。
蟹が爪をもがれたよう	頼みとするとところを失った様。
蟹の念仏	口の中でぶつぶつ言うさま。
蟹の死にばさみ	執念深いさま。
蟹は甲羅に似せて穴を掘る	自分の力量に応じた言動をするさま。
月夜の蟹	内容の乏しいこと。
海老雑魚の魚交じり	つまらぬ者が立派な者の仲間入りをしているさま。
蛸は身を食う	自己資金を使いつぶす。
うなぎの寝床	狭くて細長い場所。
うなぎのぼり	ぐんぐん上昇するさま。

こまめの歯軋り	弱小者が悔しがってもかいがないさま。
鯉の滝登り	立身出世のたとえ。
まな板の鯉	相手のなすがままに覚悟を決めているさま。
ざるの中の泥鰌	人が群れてごった返すさま。
柳の下で泥鰌	一度味をしめると、それを繰り返そうとするたとえ。
泥に酔った鮒	息も絶え絶えのさま。
魚心あれば水心	相手が好意を持てばこちらもそれに応じる心を持つこと。
呑舟の魚	善悪ともに大人物のたとえ。
逃がした魚は大きい	失った物は大きく思われる。
一寸の虫にも五分の魂	弱いものにもそれなりの意地がある。
仕事の虫	仕事に打ち込む人。
獅子身中の虫	内部にいて災いをなすもの。
飛んで火に入る夏の虫	自ら進んで災難に身を投ずること。
虫がいい	厚かましい。
虫が知らせる	予感がする。
虫が好かぬ	なんとなく気に入らない。
虫の居所が悪い	不機嫌なさま。
虫にさわる	気に食わない。腹が立つ。
虫も殺さぬ	おとなしく上品な様。
虫を殺す	腹の立つのをこらえる。

欢迎关注新浪微博@日语单词本

微信公众号:danciben123